



臨床研究開発センターニュース



日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、北海道では一足先に冬支度が始まりました。

また、北大構内では観光スポットの一つ、イチョウ並木の黄葉シーズンとなって参りました。

このたびは「新組織『北海道大学病院 臨床研究開発センター』の設置について」等を記載しております。



●新組織「北海道大学病院 臨床研究開発センター」の設置について●

平成26年10月より北海道大学病院高度先進医療支援センターと北海道大学探索医療教育研究センターが統合し、新組織として北海道大学病院臨床研究開発センター[センター長 寶金清博(病院長)、事業統括マネージャー佐藤典宏(教授・前高度先進医療支援センター長)]が設置されました。

前号でご案内したとおり、この臨床研究開発センターは「臨床研究中核病院整備事業」及び「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」を推進する役割も担っておりますが、組織としては臨床研究開発推進部門、研究開発推進部門、臨床研究支援部門、治験支援部門、データ管理部門、生物統計部門、品質管理部門、信頼性保証部門、教育・研修部門、運営管理部門の10部門(25室)で構成されております。

この中で臨床開発推進部門は、上記の2事業による医薬品・医療機器開発やシーズ支援の中心的な役割を担います。また、これまで臨床研究の統計解析や治験・臨床研究のモニタリングについてはデータ管理部門が担っておりましたが、統計解析やモニタリングの機能を担う部門を生物統計部門、品質管理部門としてそれぞれ新設し、臨床研究の信頼性向上に向けて機能強化を行っております。以上のように、各部門の機能は多岐にわたりますが詳細につきましては、後日HP及びパンフレットにてご案内させていただきます(現在、準備中)。

臨床研究開発センターは革新的医薬品・医療機器・医療技術の研究開発から、最適治療の確立を目指す臨床研究まで幅広く支援を行ってまいりますので、皆様にはご愛顧、ご利用いただければ幸いです。

なお、臨床研究開発センターの組織図についてはHP (<http://trctca.huhp.hokudai.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2014/10/7b17de74a53c64fab687f6448f4ac062.pdf>) をご覧ください。

●第14回 GRGと臨床試験のあり方を考える会議 2014 in 浜松●

「第14回 GRGと臨床試験のあり方を考える会議 2014 in 浜松」が10月4日(土)、5日(日)に開催されました。本院GRGの岩崎紘子が「北海道大学病院における治験や臨床研究の意義を理解してもらうための活動報告～私にもできた啓発活動～」(P-133)の演題にてポスター発表を行いました。ポスター発表時には、たくさんの関係者の方々に閲覧いただき、また、意見交換させていただきありがとうございました。今後とも積極的に関係学会に情報発信を行っていく予定です。

●事務局からのお知らせ●

■IRB開催予定日■

11月18日(火) 15:00 より

■SDV会議室状況■

11月のご予約は、徐々に埋まって参りましたのでお早めにお申し込み下さい。

■お願い■

- ・弊センターの業務時間は9:00～17:00(昼休み12:15～13:00)となっております。万が一、時間延長をする際は必ず担当GRGへご相談ください。
- ・ご自身で担当医師とアポイント調整をされる際、メールでの仮予約が可能です。最大4日間までとし、メールにてお申し込みください。なお、仮予約受付日から1週間経過した際は自動解除といたしますので、お早めに確定ください。
- ・SDVへご同行者様がいらっしゃる場合は、SDVお申し込みの際にメール本文へご同行者様の氏名をご記載ください。また、ご同行者様につきましてはモニター一覧等で既にご登録がお済みの方のみとなります。
- ・SDV会議室内電子カルテへも記載がございましたが、離席されている際や終了し退出されているにもかかわらず、電子カルテがログアウト・シャットダウンされていない場合がございますので、今一度ご確認のほどお願い申し上げます。



ホームページ: <http://trctca.huhp.hokudai.ac.jp/index.php>
お問合わせ・配信変更等: 電話 011-706-7061 (平日8:30～17:00)
: メール n.sanefuji@huhp.hokudai.ac.jp 実藤